

自主防災活動

「昔の長屋」のお付き合い

住民のつながり深める公園喫茶

「今日も、お元気そうですね」「ここでみんなといただくコーヒーはおいしいわあ」一。ご近所から集まった皆さんが笑顔で語り合います。

労住まぎのハイツ自治会では、地域のボランティア「くらしの支援・かけはし」が週2回、住宅内の公園で喫茶「藤」を開催。地域のつながりが希薄と言われる集合住宅で、「部屋に引きこもっている高齢者をひっぱり出そう」と始めたもので、毎回70人以上の人が集まります。山根文代さんは「外でわいわいおしゃべりするのが最高。お互いの気心も知れて良いですよ」と笑顔で話していました。

くらしの支援「かけはし」
労住まぎのハイツ



こうした交流が、地域の防犯や防災活動にもつながり、「子どもの見守り活動に参加する人も増えました」とかけはし代表の立石裕稔さんは言います。また、かけはしでは蛍光灯の交換など高齢世帯の支援や、地元医師の協力による介護予防講座なども開催。自治会長の兼田智恵子さんは「築30年を経て高齢者が増える中、日頃からの触れ合いで、いざというときに助け合えるまちにしたい」と話していました。



広報

特集号

平成19年(2007年)

2月20日号

No.1112

ひらがた

あなたの力が
枚方の魅力をアップ!

市民参加と協働のまちづくり



主な内容

市民の8割が「定住」意向

市民意識調査の結果…2

命・生活を守る

地域の取り組み…3

長岡市の教訓を生かす…4

まちの歴史を探る

枚方観光ボランティアガイド…6

市内の歴史マップ…7

美しい里山を守る

里山をよみがえらせた市民の力…8

穂谷が全国の里山モデルに…10